

全学連派の暴力行為を再たび糾弾する

「全学連派の諸君は、東京にて自伝をつめ、既に暴力行為の張本人、森田（森田義信）、「全学連」の幹部たる公浦（公浦義典）

学園から暴力を一掃し、要求に基づく
自由運動の創設を、全学連

市大尊友のむなごんタ 昨夜ひきおこされた「全學連派」の暴力行為と、彼らの暴力陰ペイ・デマ・ナシナあげと、民主主義を守り、自ら身を眞に發展させ、要求にもとづく學生運動を代表させる立場から、再び怒りをもつて糾弾するものである。この事実を全學生に明らかにし、彼らの犯罪性を露するものである。

日夜12時すぎ、「全學重系」の森本某（商学部、選舉管理委員）と自称「全學連中執」を名のる者が、全學連支持員議のタテカンシバンに因縁をつけ、全學重統一派の去学部丁君の全學官部丁君となりつかみ、數名の抗議にもかかわらず、数回開放せず、「本當の暴力はどんかものか知つていろ」とことうがつを加え、さくさくた一筋議するところまでなぐつたと自らの暴力行為を認めた。又もう一人は統一派の全學官部丁君を足げにした。

「うした事が行はれど許されるべきでない。意見の人々に暴力を暴力である、「全学連系」の民主主義環境は決して眞誠できるものではないという見方から、正当な権利として「全学連系」に森本某とその同伴者をすぐ出し、謝罪と自己批判を要求した。しかし「全学連系」諸君は我々の正論を再三リ要求と抗議にひかわらず、自分の暴力行為を隠ぺいし、我々にそれを転化し、白と黒と云ふくわる悪質な手段を抜けつけた。「全学連系」リト日最初「そんなことは知らぬ、テソナあげだ」と言つたが、その暴力が全学連文研会議にてかにドン口撲りれてゐる如天誅者、同大一文、明大ニシ部等の呈意連加盟問題であり、へ実際に全学連規約にナリ正規加盟してゐる同う規定にもごづく脱退の議を提出してゐる。この改テカン前で彼らは「ナソヒキする事を知らぬ」といふわり、かつ自らの暴力をひたかくしにしなうとした。

朝七時半頃、彼の二〇名位が各部会議のボックスに、向の二こわりもしく乱入し、「相大等の主導権に盟内問題で折衝」に来たという。しかも、これは支持会議の室に、まるかげであつた。本刀とさじに目をつけ、それを理由に我々が木刀で彼らのボックスに乱入し、如くのデッキあげを行い、その木刀をもろざると、う強盗行為を行つた。實際、木刀をもつて乱入した事実はなく、我々は突然と彼らの暴力行為を抗議しただけであつた。彼らのこうしたデッキあげ、アマは彼らの暴力を隠ぺいして、すりかえを行ふ常トウ手段である。

我々はこうしたテーマ・ディシマゲを決して許さない。民主主義が破壊されようとする時我々は決して黙認するものでは有り、我々は自ら公の民主的運営を守り、こうして民主主義・大学の自らを守るために、いかなる暴力行為も糾撻するものである。そして「全学連承」の暴力学生集団を市大から一掃し、またそれに同調し、共に行動する統一戦線へ反対団派、主流派)、革新ケループ等分裂主義者も同時に一掃し、自らが眞に学友の手にするため奮斗するものである。要求にもとづく自治会運動の創設をめざとり、全学連の旗の下に团结して斗おう。